

ICTで 授業をDX!

学年 中学校1年 教科 外国語 など

5ラウンドシステム指導法におけるタブレット端末の活用

使用するアプリケーション等
・指導者用デジタル教科書
・Microsoft Teams
・ミライシード (オクリンク)

単元・題材 5ラウンドシステム - Round 1~3 -

DXのねらい 視覚的・聴覚的に個別最適化な学びを行うことができる。

ICTを活用することで できること

- ・授業中に、教科書等の音声を一緒に聞いたり、個別に聞いたりして練習をすることができる。
- ・家庭学習として、授業で用いた教科書等の音声を繰り返し聞いて学ぶことができる。
- ・Microsoft Teamsで、Unitごとの音声をまとめて提示することで、活用しやすくなる。
- ・オクリンクの活用により、黒板に絵や写真を貼って並び替えを行っていたピクチャーオーダーリングの活動を、画面上で個別に取り組むことができる。
- ・デジタル教科書を活用することで、英語に対して視覚的・聴覚的に学びを深めることができ、英語に慣れ、親しむことができる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

○Round 1の場合

- ①Unitのストーリーに関するピクチャーカード (紙) を黒板に提示しながら、内容について生徒とのインタラクションを行う。

2 展開

- ①リスニング (1~2回) どんなストーリーかを想像させる
- ②リスニング (1~2回) ストーリーの内容に関するQ&Aを考えさせる
What are they doing? } 生徒とのインタラクションを通して、教科書のストーリーを
Who is ○○○? } 把握させていく。
- ③リスニング (3~4回) ピクチャーオーダーリング (絵のカードの並び替え)
●ピクチャーカードの順番をランダムにして、黒板に貼る。
●絵を見ながら、ストーリーの音声をCDで聞かせる。
●聞き終わったら、ペア等でピクチャーカードの順番について話し合わせる。
●全体で正しい順番に並び替え、終わった後に再度CDを聞かせる。

3 まとめ

- ①リスニング (1~2回) なりきりリスニング
●登場人物の1人を選んで、その人物になりきってストーリーを聞くように指示する。
●黒板に提示したストーリー順に並んだ絵を見ながら聞かせる。
- ②リスニング (1~2回) なりきりスピーキング
●なりきりリスニングで選んだ人物になって、CDと一緒にセリフを言わせる。
●もう一度繰り返したり、別の登場人物のセリフに挑戦させたりする。



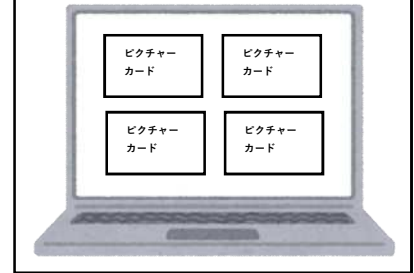
DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

○Round 1の場合

- ①Unitのストーリーに関するピクチャーカードの提示を **TVもしくは生徒の各端末に表示し**、内容にちなんだ生徒とのインタラクションを行う。
- ②デジタル教科書を活用し、各Unitのストーリーを見せる。
(アニメーション動画または実写版動画を活用)

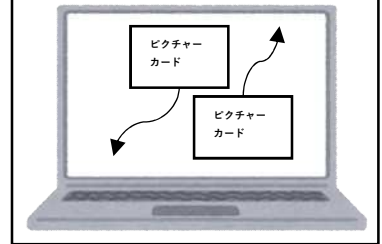
1.導入、2.展開で導入時に使用するピクチャーカードの提示 (イメージ)



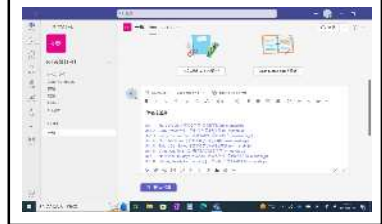
2 展開

- ①リスニング (1~2回) どんなストーリーかを想像させる。
●導入時に用いたピクチャーカードを **Teamsの共有ファイルに保存したものを**見ながら聞かせる。(TVを用いて一斉に見せる場合もある。)
- ②リスニング (1~2回) ストーリーの内容に関するQ&Aを考えさせる。
●質問にリンクしたピクチャーカードを **Teamsの共有ファイルに保存したものを**見せる。(TVを用いて一斉に見せる場合もある。)
- ③リスニング (3~4回) ピクチャーオーダーリング (絵のカードの並び替え)
●**オクリンクにピクチャーカードをランダムにして、生徒の端末に提示する。**
●絵を見ながら、ストーリーの音声をCDで聞かせる。
Teamsで音声の共有を図り、個別に聞かせることもできる。
●聞き終わった後にペアで順番について話し合わせる。
●**オクリンクで並び替えたものを提出させ、再度CDを聞かせて答え合わせを行う。**(この場合は、一斉に聞くように指導する。)

2.展開で、ピクチャーカードの並び替えをオクリンクで行う (イメージ)



Teamsで音声データを共有する



3 まとめ

- ①リスニング (1~2回) なりきりリスニング
●登場人物の1人を選んで、その人物になりきってストーリーを聞くように指示する。**Teamsで共有している音声を個別に聞く。**
- ②リスニング (1~2回) なりきりスピーキング
●なりきりリスニングで選んだ人物になって、**Teamsで共有している音声に合わせてセリフを言わせる。**
●もう一度繰り返したり、別の登場人物のセリフに挑戦させたりする。
- ③宿題の提示
●なりきりスピーキングの練習を家庭でも行う。**(Teamsで共有している音声を活用)**→次回、グループで発表するなど示す。
●なりきりスピーキングの練習 (別の登場人物) を家庭でも行う。**(Teamsで共有している音声を活用)**→次回、グループで発表するなど示す。

授業者から (成果・課題・留意点)

- ・ピクチャーカードの提示にかかる時間が減らせるのでスムーズに授業を進めることができた。
- ・教科書の音声を一緒に聞くだけでなく、個別に聞ける機会を設けることで、たくさん聞きたい生徒は繰り返し聞くことができ、苦手な生徒は自分のペースで聞くことができた。
- ・Teamsに音声を共有できるようにしておくことで、家庭学習でも音声を聞いて取り組むことが容易になった。
- ・教室で個々に、一斉に音声を再生して聞くことで、聞き取りづらい部分も生じているため、イヤホンの活用などの検討が必要である。